

おち町

No.104

2013 (H25) 5/1
高知県越知町議会

議会だより OCHI TOWN



笑顔いっぱい楽しく遊ぶ (保育園)

3月定例会

平成25年度一般会計予算36億7582万円

4P **ことしの事業ピックアップ**

平成24年度一般会計補正5億2525万円

11P **町道整備に6億5000万円**

5人が一般質問

12P **町営住宅計画や防災対策を問う**

議会です こんにちわ

ピザ窯の熱き思いを伝えたい 心ふれあうウボタの里で...

ピザ窯の上に掲げられた看板から地域の思いが伝わる



窯の温度は200～300度で、3分で焼きあがる



ブロッコリー、トマト、ピーマン、ワラビ、イタドリなど、トッピングはほとんどが地元食材

ピザを焼いていただいた、左から井上千代さん、吉田由太郎さん、井上義久さん、坂本洋子さん、藤原恵美さん

地域には「ピザ」という言葉すら知らない人もいた「ようですが「今では知らない人もなく、みんなよく食べてくれる」とのことです。
公民館長の井上義久さんは「訪れた人に自分で好きなトッピングをして食べてもらいたい」と、交流人口が増えることを願っています。
委員一同、焼きたての美味しいピザと明るい笑顔をおなか一杯いただきました。ごちそうさまでした。

3月末に閉校した野老山小学校は「野老山公民館」となりましたが、その隣には、昨年6月にできたピザ窯があり、みんなが集える地域のシンボルとなっています。
ピザ窯作りは「食べることが人を呼ぶ一番のきっかけになる」との発想から決まったそうです。
地元の井上義久さん、吉田由太郎さん、高橋太郎さん、西森隆志さんの4人が窯の作り方を学び、野老山出身の有志からの寄付金で材料を調達し、ブロッコリーの基礎からレンガ積みなど、毎日作業を続けておおよそ20日間で完成させました。
女性陣も、ピザ生地、ソース、トッピングなどを工夫して、おいしいピザ作りを熱心に研究しています。
地元野菜のトマトやブロッコリー、ピーマンなどの定番に加え、イタドリやワラビを味付けしたピザはイタリアンレストランでもちょっと味わえないままです。

議会を傍聴しませんか

3月定例会の傍聴者は延べ45人で、一時満席となり立見者もできました。
次の定例会は6月です。たくさんの傍聴をお待ちしています。



耐火レンガの外を赤レンガで覆う二重構造で、間に砂を詰めて保温性を高めている

編集後記
桜満開の校庭で、卒業生や地域の人が集って「久しぶりだね」と話している。140年間の間、両親や祖父母、そして自分も学校で閉校記念碑には「学校のおもい、ふるさとの思い出、おもしろい、未来への思い、地域の未来を思い、助け合いながら生きていく。ふるさとへ帰れなかつた人たちに、この議会だよりを届けよう。《岡林》

- | | |
|-----------|-----------|
| 編集・発行責任者 | 議長 岡林幸政 |
| 議会広報常任委員会 | 委員長 岡林幸政 |
| 委員 | 副委員長 岡林幸政 |
| 委員 | 委員 岡林幸政 |
| 委員 | 委員 岡林幸政 |
| 委員 | 委員 岡林幸政 |
| 委員 | 委員 岡林幸政 |
- ※分りやすい紙面にと心がけています。読後のご感想、ご意見をお寄せください。

少子化の流れ避けられず

Contents No.104 May 2013

- 04 ことしの事業ピックアップ
- 06 どう使う?新年度予算
- 09 グラフで見る一般会計
- 10 こんなことが決まったぜよ
図書館条例や過疎計画の変更
- 11 平成24年度補正
町道整備に6億5000万円
一般質問
- 12 町営住宅、防災など5人が質問
- 17 地方の声を国政に
意見書4件を可決
委員会レポート
- 18 防災対策や教育現場を視察調査
- 20 地区別懇談会
町との対話が住民の願い
- 22 追跡!これからの越知道路
- 23 議会広報コンクール8年連続入賞
議会ですこんにちは
- 24 野老山公民館初の活動

旧野老山小学校を町立公民館とする条例改正を賛成全員で可決し、地域活動の拠点として「おとなの学校」などを含め「野老山公民館」として再スタートをしました。

3月24日の閉校式典【写真】には町内外から卒業生など、およそ260人が出席し、140年にわたる歴史を振り返りました。

【24面に関連記事】

閉校した野老山小学校が「野老山公民館」として再スタート

平成25年度一般会計36億7582万円

3月定例会は、8日から14日までの会期で開き、平成25年度各会計予算、平成24年度各会計補正予算、過疎計画の変更、条例の一部改正および国が決めていた基準や施策等の権限が自治体へ移されることに伴う条例制定など38件を全会一致で可決しました。

一般質問【12面から】は5人が登壇し、町行政の課題について執行部の考えをただしました。



平成25年3月定例会

平成25年度一般会計予算の中から注目事業を取り上げました。昨年度の中学校体育館・プール改築のような大型事業がなく、予算額はおよそ8億6900万円減額しています。

ことしの事業

水道施設改修 6240万円

- シデノクボ地区は水源地（谷）が遠く水量も少なく、本桑敷地区は施設が老朽化したため、両地区を一体化して整備する。
- 深田地区は施設の老朽化が著しいため、新たに取水ポンプの設置と配水管の布設替えを行う。



水道が改善されるシデノクボ地区

地域おこし協力隊 2人雇用 396万円

武智 1人増えるが、何をするのか。
 企画課長 「おち駅」への生産者の拡大や連携、仁淀川を活用した体験型観光などを中心に活動してもらう。

片岡(清) 地域おこし協力隊の報酬は、企画課長 一人月額16万5000円。



在住2年目の川合さん

45〜65歳の新規就農研修支援 240万円



青年就農給付金(経営開始型)制度により就農した松井孝之さんはシヨウガの植え付け準備に忙しい

武智 青年就農給付金との違いは、産業建設課係長 45歳以上65歳未満が対象で青年就農(準備型)は45歳まで。産業建設課長 研修受け入れ農家には月額5万円が支給される。

コスモス荘に

バス購入 720万円

デイサービス送迎用バスが20年を経過したため、電動格納式ステップを装備した29人乗りバスに買い替える。
 地域福祉振興基金を82万円取り崩して購入費に充てる。【8面に関連記事】

児童生徒の研修 委託費 839万円

- 北海道滝上町児童と初めて交流。小学5年生が冬は滝上町で、夏は本町で交流する。
- 中学2年生が韓国に研修旅行を行う。



1月に行った久万高原町でのスキー研修

住宅耐震化に補助金

- 耐震診断…1戸当たり3万円
- 耐震設計…1戸当たり20万円
- 耐震改修…1戸当たり90万円
(金額は上限額で個人負担が必要)

武智 補助金の件数と住民への告知はどのようにするのか。
 産業建設課長 5戸分を計画している。耐震診断を受けてもらい、危険建物の判断があれば事業に該当する。総務課長 広報とホームページに載せる。

町の特徴をテレビ放送 特別番組制作 200万円

岡林(学) 番組の内容は、企画課長 町の良さや人の元気な部分、これまで紹介されていないものなど、町の特徴を生かした1時間番組を作り、合わせてCMも作る。
 26年度にテレビ放送の予定。

平成25年度予算

会計名	予算額	前年度予算額	増減	可否
一般会計	36億7582万円	45億4474万円	△8億6892万円	賛成・全員
特別会計				
簡易水道	1723万円	7684万円	△5961万円	賛成・全員
下水道	1億7074万円	1億4506万円	2568万円	賛成・全員
国民健康保険	8億7365万円	8億6122万円	1243万円	賛成・全員
介護保険	10億8515万円	10億7673万円	842万円	賛成・全員
後期高齢者医療	1億1243万円	1億425万円	818万円	賛成・全員
土地取得	8031万円	51万円	7980万円	賛成・全員
蚕糸資料館	19万円	24万円	△5万円	賛成・全員
自然の森博物館	2612万円	2693万円	△81万円	賛成・全員
企業会計(水道)	5782万円	5831万円	△49万円	賛成・全員
合計	60億9946万円	68億9483万円	△7億9537万円	



四国内の住みます芸人合同ライブ
(3/16・町民会館)

町を元気に

「住みます芸人」 今年も住みます

観光振興事業の内容
齋藤 観光振興事業120万円はという事業か。
吉本興業と委託契約
企画課長 吉本興業と委託契約して、芸人に越知へ週に3日くらい住んでもらい、観光PRや町を元気にする活動をしてもらう。

ニューシティおちイベントに41万円

齋藤 ニューシティおちへの補助金の内容は、企画課長 年末のイルミネーションを充実させるために補助する。

観光協会チラシを自作
高橋 体験型観光商品PR事業補助金28万8000円の内容は。
企画課長 観光協会がパソコンでチラシやポスターなどを自作するイラストソフト購入の補助。

移住支援相談員 賃金198万円

高橋 移住支援相談員の仕事内容と相談員は専門の資格がいるのか。
企画課長 県の補助金(100万円限度)を活用して一人配置し、空き家の調査や町の情報発信などを担ってもらう。資格はいらすが、越知を知り情報提供が上手な人材を求めている。

黒森山作業道整備37万円

植樹は最後か

齋藤 植樹は今回が最後と聞くが、どうなる。

安全確保が課題
企画課長 山が急峻になってきたので、安全に



植樹活動には多くのボランティアが参加

山に入れるよう、作業道を整備する。

今後も続けたいが、安全確保が難しくなれば、ボランティアではできない。なるかもしれない。

今号の表紙



いきいきと生活できる環境の中、遊具で楽しく遊ぶ保育園児たちの明るい表情を紹介します

南ノ川作業道

どこからの路線か

齋藤 南ノ川作業道はどこからの路線なのか。

旧学校道から小日浦へ
産業建設課長 南ノ川からの以前の学校道を小日浦方面に計画している。

レンタルハウス

施設整備補助金693万円



広いハウス内では安全でおいしい野菜がたくさん育っている

補助の対象者は

片岡(清) レンタルハウスの対象者と補助金の限度額は。

西村農園に補助
産業建設課係長 西村農園への補助で、面積は792平方メートル。
産業建設課長 限度額は1反当たり1100万円。



国土調査完了まで20年

委託費6609万円

今後の進め方

片岡(清) 国土調査は約20年かかるといふことだが、今後の進め方は。

山間地域を3班で
産業建設課長 過疎が進む山間地域から3班体制で行っている。事業量に比べて事務職員が少ないため、対応が難しい状況だ。

班を増やせないか

齋藤 昨年度に比べ国の補助金が約1000万円減ったのはなぜか。専属の職員や班体制を増やして進められないか。

検討する

産業建設課長 事業費は対象地域の筆数や面積によつて減ることもある。
町長 職員が足りないのも事実だ。課長会等で検討する。

県営住宅家賃補助302万円

家賃補助と住居手当

武智 県営住宅ラピュタへの家賃補助金の内容は、町職員も入居しているが、住居手当はどうなっているか。

条例どおり支給

総務課長 県の住宅供給公社へ1戸当たり月額2万1000円を補助している。
住居手当は補助金を分を除いた家賃(3万9000円)に対して条例どおり支給している。



県営住宅ラピュタ
(町民会館東側)

道路改良工事

町道ヒソガ峠線(山室)の改良工事始まる



改良が始まる町道ヒソガ峠線

町道改良の内容
片岡(清) 町道バラガタキ線、野老山中村線、ヒソガ峠線の事業内容。
産業建設課長 ヒソガ峠線(山室)は全延長が120メートルで、本年度は50メートル(幅員4メートル)を予定。
 バラガタキ線(熊秋)と野老山中村線は25年度に完成予定。

地域福祉振興基金

バス購入の残りは
斎藤 地域福祉振興基金でバスを買った(5面参照)残りは何に使うのか。

認知症対策

住民課長 徘徊(はいかい)の恐れがある認知症高齢者に携帯型端末を無償で貸し出し、所在を確認できるようにする。
 また、持ち運びができる脳年齢計を保健福祉センターに備えて、脳疾患の早期発見、重症化予防に役立てる。各地域のミニデイなどにも活用する。



脳年齢計

中学校教育

高知大生に補修授業依頼

学習アドバイザー
岡林(学) 学習アドバイザーと学力向上サポーターの内容は。
高知大生に依頼
教育次長 学習アドバイザーは、高知大学生に補修授業を依頼し、中学校の夏休みに10日間、冬休みに7日間行う。
 学力向上サポーターは、教員資格を持った者が年間600時間、中学校で教師の補助をする。



自らが目標を持てる学習指導を行っている

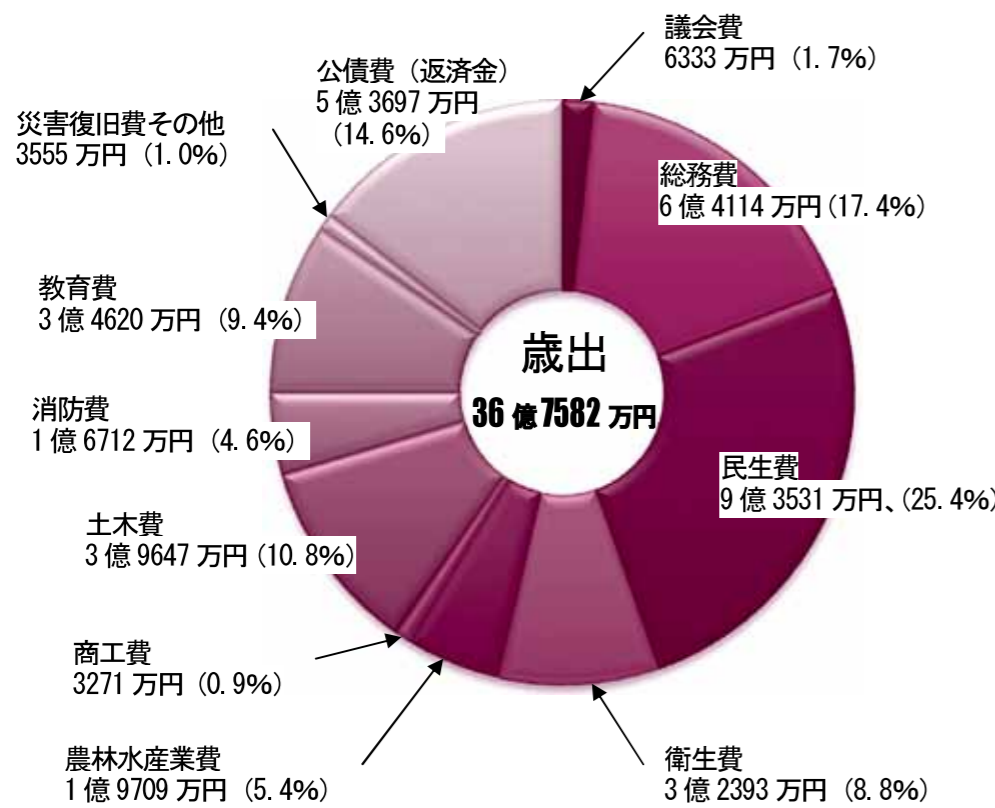
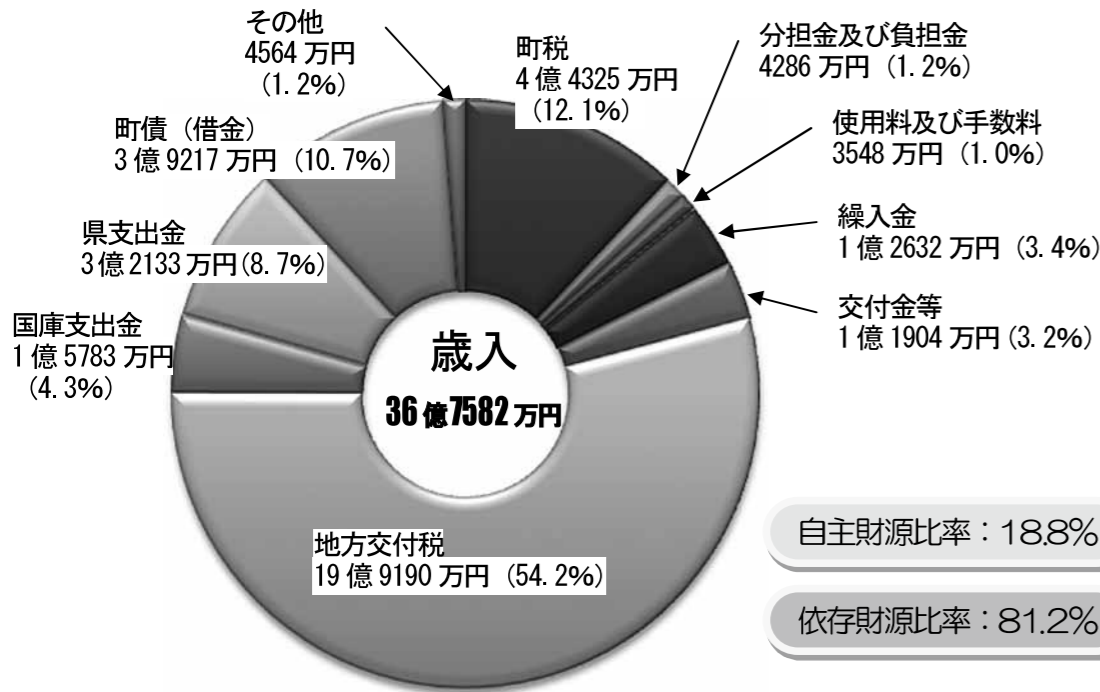
下水道会計

負担金の見直しは
斎藤 繰入金が毎年1億円余りあるが、加入率を上げるため、受益者負担などの見直しを検討できないか。
安くはできない
環境水道課長 受益者負担金は宅地1平方メートル当たり400円だが、下水道法で3年以内に接続義務があり、すでに3年を過ぎているため安くはできない。
 工事の利子貸付制度はあるが、年金生活者や高齢者の加入は難しい。
新築、増改築などに合わせて加入する状況なので、今後も啓発していく。

グラフで見る一般会計

平成25年度一般会計

36億7582万円



町税	町民が納める税金(町民税、固定資産税、軽自動車税、たばこ税)
繰入金	町の貯金を下ろして使うお金
交付金等	消費税やガソリン税などから地方へ配分されるお金
地方交付税	自治体運営の均衡を保つため、国税(所得税、法人税、酒税など)の一部から配分されるお金
国・県支出金	決まった目的に使うため、その費用の一部または全部が国や県から交付されるお金
町債	町が事業を行うため、費用の財源不足を補うために借り入れるお金
公債費	町が借り入れたお金(町債)の返済金
自主財源	町が自前で賄うことができるお金
依存財源	地方交付税や町の借入金、国・県の補助金などに頼るお金

町道整備に 6 億 5000 万円

平成 24 年度一般会計総額 56 億 6909 万円



大型補正で側溝整備などが図られる「町道野老山本線」

町道 38 路線の側溝改修や落石対策

平成 24 年度一般会計補正予算^①は、町道 38 路線の整備事業に 6 億を超す大型補正となり、工事の側溝改修や落石防護対策、舗装工事などが行われます。

町道 38 路線の側溝改修や落石対策

側溝改修や落石対策

町内業者で対応
産業建設課長 町内業者
で対応できると思う。

町外への発注は
片岡(清) 指名停止・回避の業者がいるが、町外の業者に発注することは
ないか。

4 月から発注し
年度内完成
産業建設課長 4 月から
順次発注して 25 年度内に
完成できるようにする。
山間部は 6 月以降の発
注を考えている。

発注と完成は
高橋 大型補正だが、発
注と完成は大丈夫か。
山間部の発注はいつか。

ふるさと寄付金 160 万円 《歳入》

杉本憲優氏、山崎冬樹氏、山崎史氏、大田博志氏、大田美恵氏、武智虎義氏、武智幸氏、武智虎三郎氏、武智熊四郎氏、平井春美氏、西森慶造氏から、合わせて 160 万円の寄付金をいただきました。

平成 24 年度補正予算

会計名	補正額	総額	
一般会計	5 億 2525 万円	56 億 6909 万円	
特別会計	簡易水道	△520 万円	7422 万円
	下水道	△118 万円	1 億 4683 万円
	国民健康保険	1330 万円	8 億 8684 万円
	介護保険	△170 万円	10 億 9394 万円
	後期高齢者医療	24 万円	1 億 1086 万円

① 一般会計補正予算の内容

増額は、総務費 4539 万円、土木費 6 億 5482 万円など。
減額は、民生費 3719 万円、消防費 1465 万円、教育費 9495 万円、災害復旧費 1190 万円など。

お礼は

武智 ふるさと寄付金の
お礼はどのようにしてい
るか。

3000 円相当の品

総務課長 礼状と 300

0 円相当の品物を贈って
いる。

条例定 「本の森図書館」生まれ変わる



7 月開館に向け本の仕分け作業が続いている

耐震改築工事が進められて「本の森図書館」が図書館法に基づく施設となる。「18 面に関連記事」《賛成・全員》

運営方法は
教育長 司書の配置は条件にはないが、今の臨時職員が資格を取る予定で、館長は教育委員会の職員が兼務し、こども読書活動支援員と新たに臨時職員を配置する。
収蔵数の規制はなく、当初 8200 冊を予定し、県立図書館と連携して貸し出し等に対応する。

条例改正 集会施設の設置

横島本村と野老山本村を追加



完成した野老山本村集会施設

住民の生活の向上、福祉の増進を図るための集会施設で、平成 24 年度建設の 2 施設を追加する。町または町が指定する指定管理者が管理し、こ

れまで、谷ノ内、文徳、片岡、清水、八ヶ窪、柴尾、遊行寺、後山、宮地、野老山中村、黒瀬に設置されている。



過疎計画で道路改良が進む

町道バラガタキ線(熊秋)と町道野老山中村線



条例定 市山に移住促進住宅
民間住宅を借り上げ、移住促進に取り組み。入居期間は 1 カ月から 3 年未満で、家賃は月 1 万円。「18 面に関連記事」《賛成・全員》

他の地区も進めるか
山橋 他の地区から要望があれば進めるのか。
進めていく

町長 県も中山間地域の活性化策の中で移住対策に取り組んでおり、本町も進めていく。

人事

人権擁護委員の推薦
片岡とき子氏(越知丙)
《同意・全員》

過疎計画の変更 《賛成・全員》

町の 10 年間の将来像を示した総合振興計画の実現のため、その実施計画は過疎計画を基本とし、財源の整合性を毎年度見直して、実施年度や事業費の変更、新規事業の追加等を行う。

● 過疎計画
過疎地域自立促進特別措置法(過疎法)に基づき、産業の振興や生活環境の整備、保健・福祉の向上、教育の振興などの事業計画。過疎法により有利な起債(借金)で事業が行える。

町営住宅計画を

説明しない理由
高橋 住民説明会をしない理由は、過去に一度もない。
吉岡町長 過去の大型事業で住民を集めて説明をしたことはない。
30年以上前と違う
山橋 30年以上も前の高度成長期とは社会情勢も大きく違っている。住民に説明する義務はないのか。
吉岡町長 小舟団地や町民会館、博物館なども一度もやっていない。議員は住民代表であり、議会で決めるのが原則で、今やればトラブルが起きるだけだ。

町民の要求だ
武智 議会と住民との懇談会で、町民から「執行部から直接聞きたい」との要求があった。町民の理解を得て取り組むべきだ。
なぜか疑問だ
吉岡町長 なぜこの事業だけ説明しなければいけないのか疑問だ。
新年のあいさつにない
山橋 町広報誌1月号の新年のあいさつに、町営住宅計画に一言も触れていない。
予算計上してない
吉岡町長 12月議会で工事予算も計上していませんので、その段階でないとは判断した。

ニーズ調査と家賃
高橋 山間地の高齢者や戸建て町営住宅に住む人のニーズ調査はしたか。また、町民に財政負担はかからないか。
町内・町外の入居者の割合や制限、家賃はどうなる。
吉岡町長 調査はしてないが、山間地や戸建て町営住宅の人は入らないと思う。
調査はしてない
吉岡町長 調査はしてないが、町内の人は入れないという事はできないので、苦慮している。財政負担は町民にはかからないようにする。
家賃は6月に示す
小田企画課長 家賃は6月議会あたりで示す。

25年度は
高橋 25年度の大規模事業だが、今後の進め方は7月から造成工事
小田企画課長 6月議会を経て、進入路と造成工事をして7月に発注したい。それが済み次第、本体工事を発注する予定だ。

延期できないか
山橋 予算の計上はいつか。また、談合事件で指名停止の業者もいるが、延期できないか。
6月補正予算に計上
小田企画課長 国の交付金の内示が5月の予定で、その配分が分かれば6月補正で計上する。
吉岡町長 事業は町外の大手業者になると思う。本町で指名できる業者は1社であり、現時点では大きな問題はないと思う。

今後の進め方は6月に予算計上／企画課長



3区の建設予定地

町民に事業の説明を過去に一度もやっていない／町長

4人が問う

左から片岡、武智、山橋、高橋

一般質問は5人（高橋文一、山橋正男、武智龍、片岡清則、岡林学）が登壇し、町営住宅や入札制度、防災対策などについて執行部の考えをたどりました。
 5人のうち4人が質問した町営住宅問題は、12-13面にまとめました。【18面に関連記事】その他の質問は14面からです。

50戸の計画は後出しだ 委託費は説明して可決／企画課長



計画している町営住宅の模型

なぜ50戸か
高橋 人口減少が進むとき、なぜ8億も使って50戸建てるのか。
人口減少を抑える
吉岡町長 県も定住策に力を入れている。本町は1年に110人減っており、50戸で70人から100人が住むことで抑制になる。
小田企画課長 27年の国勢調査までに人口を増やしておきたい。

議会に報告がない
武智 22年11月の土地購入時に、租税特別措置法で50戸以上建てなければならぬ条件があったにもかかわらず、24年8月まで報告がなかったのはどうしてか。
認められるか未定
小田企画課長 (税務署に) 認めてもらえるかどうか分からなかった。

戸数は後出しだ
片岡 土地購入時に免税措置のため50戸を建てるという説明があれば反対した。
戸数は後から出た話だ。
説明して可決
小田企画課長 23年6月と9月に「50家族が入る」と話している。24年3月には設計委託費の予算説明で「50戸を計画している」と説明し、可決している。
吉岡町長 所有者の税金を安くするためだけでなく、町も有利に安く買えるための優遇措置だ。

50戸建てない方法
片岡 免税した金額を何かの形で補充して、50戸建てない方法はないか。
内部で検討
吉岡町長 折衷案的なものになるかもしれないが、内部で検討したい。

世帯数の変更は
山橋 単身30室、家族20室は変わらないのか。
単身用は二人も検討
小田企画課長 大きな変化はないが、単身用は部屋を間仕切りして二人で住めることも検討している。
入居のメリット
高橋 町外からの移住と町内の人の移動はどのようなメリットがあるか。
税金収入と転出歯止め
吉岡町長 町外から入ると町税が入り、経済効果もある。
町内の人が入れば転出の歯止めになる。
リスクは覚悟
吉岡町長 リスクは覚悟の上だ。
医療機関の多さや風光明媚(めいび)な所、高知市への通勤可能な点などを生かし、県の移住促進に合わせて都会に働きかける。

メリットとリスク

事業は高リスク

武智 県内の賃貸住宅は、公営・民間を問わず空き家が増えており、大規模住宅はリスクが高いのではないかと。
リスクは覚悟
吉岡町長 リスクは覚悟の上だ。

小学生への教育成果は

中学校で県平均を上回る／教育長



高橋 健一 議員

問 小学校5、6年生の英語教育の取り組みと成果、今後の予定は。また、子どもの声を聞き、生かしてもらいたい。

山中教育長 1年間に35時間を必修として3年間続けており、中学校では英語の試験で県平均点を上回っている。



ALT（外国語指導助手）との会話が楽しい

平成25年度は、保・幼・小・中が連携した指導計画を立てたい。子どもたちが意欲的に学べるよう、声を聞く機会も持ちたい。

水道施設の改修を

高齢者が多い山間地域の水道施設の改修を早くできないか。

要望地区は急ぐ

北添環境水道課長 25年度と26年度は2カ所ずつ予定している。

補助金も限られているが、要望の地区はできるだけ早く整備したい。

その他の質問

問 無線放送が聞こえないとの苦情がある。

答 2月に完成したが、一定期間は調整が必要。【21面に関連記事】

問 横倉の産業廃棄物の結果と今後の管理は。

答 環境基準は問題なかった。残土処理場入り口にはチェーンを張る。

バス停の課題

舟戸の待合所と「おち駅」南側

舟戸待合所は間もなく着工／総務課長



武智 龍 議員



ステップ代わりになるが転倒の危険性も高い

問 国道33号の舟戸バス停の待合所建設はどうなった。

片岡総務課長 国交省との協議に時間がかかったが、間もなく着工する。

問 「おち駅」南側のバス停は歩道の緑石があり、乗り降りの際に危険だが、改善できないか。

岡副町長 国交省や佐川警察署と協議の結果、緑石は撤去できないため、バス停を別の場所へ移設するよう検討する。

問 本町で談合事件が起きたが、再発防止策などの対応は。

審議会で検討中

吉岡町長 契約等審議会ですべての事前公表や業者からの問い合わせの対応、指名の方法などを検討している。

その他の質問

問 平成25年度の重点施策は。

答 3区住宅の実現。

明治中学校

体育館の屋根の改修を

腐食部分の修理をする／町長



山橋 正男 議員

問 休校中の明治中学校体育館の屋根の傷みがひどい。明治地区民の避難所でもあるが、早急な対策を求めたい。

吉岡町長 雨漏りを防ぐためにも屋根の腐食部分の修理を検討する。



屋根の腐食が進む明治中学校体育館

地盤沈下に苦慮

山中国教育長 地盤が沈下して、壁に亀裂ができて、ガラスが割れている状況で、屋根だけ修理しても避難所として安全に使えるのか苦慮している。

地区コミュニティの施設であり、生涯学習の拠点としても必要だが、建て替えは財政的に難しい。

入札問題

制度はこのままで良いのか

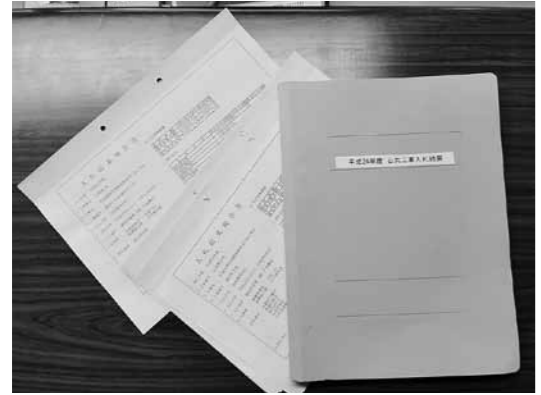
内部で新たな制度を協議中／町長



片岡 清則 議員

問 町の入札で談合事件が起きたが、入札制度はこのままで良いのか。予定価格を公表して、より多くの業者が入札できるようにできないか。

吉岡町長 現在、役場内で新たな制度を協議しており、県の意見も聞きながら良い方向にしていきたい。



閲覧できる入札結果

問 入札後の結果を議会にも示すことができないか。

総務課で公表

片岡総務課長 入札の内容は総務課で公表している。

問 1月の入札では、予定価格と3回目の最低入札額が100万円以上の差があり、本来なら不落下となるはずだが、折衝の見積もりで予定価格の100%で落札している。これはどういうことか。

片岡総務課長 入札参加者の入札心得の中に「落札者がないときは、最低価格から順次随意契約の折衝ができる」となっており、これによって契約した。



岡林学 議員

防災行政無線放送

放送が聞こえない、途切れる

一日も早く正常にする／総務課長

問 防災行政無線放送は、災害時に情報を早く正確に伝える重要な施設だが、「放送が聞こえない」「途中で途切れる」などの問題がある。設置後の確認や点検はしたのか。また、双方方向通信の試験は行ったか。

片岡総務課長 100件近くの苦情や問い合わせがあった。

メーカーと原因を究明して一日でも早く正常な通信ができるよう改善作業をしており、スピーカーの増設・調整、戸別受信機で対応したい。双方方向通信の施設は、片岡・桐見川・野老山・薬師堂・鎌井田に備えており、試験通信は行っている。

〔21面に関連記事〕

共同調理場

調理器具や食器は

使えるものは再利用／教育長

問 小学校に建設する共同調理場の入り口は狭くないのか。

また、予定地のトイレや現在の給食室の調理器や食器はどうなる。

山中教育長 入り口は4メートルで十分だ。トイレは移設し、調理器や食器の新しい物は再利用する。

吉岡町長 平成26年度に建設の予定である。



おいしい給食で元気に育つ

要援護者の避難体制

問 災害時の高齢者や障害者の避難は、自主防災組織や各団体との連携が重要だが、救助や避難の具体的な話し合いや計画はないか。

片岡総務課長 要援護者の避難・誘導のため、台帳を作って消防本部や関係者に渡している。

また、要援護者宅には、緊急連絡カードを電話近くや冷蔵庫に備えている。

自主防災組織の訓練や学習会には介護事業所にも参加してもらい、量販店などは応援協定の拡充を考えている。

介護事業者の連携

問 町内の介護事業者間が連携して避難場所での介護体制を充実するようにはできないか。

岡林住民課長 事業者間の連絡網はないが、年1回町主催の勉強会をしており、今後は災害時を想定した連絡体制を検討したい。

今後検討する

その他の質問

問 高吾北衛生センターの延命改修の計画と本町の負担額はいくらか。

答 約5億6000万円の事業費で平成26―27年度に工事を行う。15年間は延命できる。負担額は3年で約3100万円の予定だ。

〔22面に関連記事〕

地方の声を国政に届ける

4件の意見書を可決し、関係機関に提出しました。



自給率向上には1次産業の発展が不可欠

ニラの植え付け（文徳）

重油免税制度の恒久化

提出者 高橋丈一議員
軽油引取税の課税免除が平成26年3月末で廃止されるが、軽油やA重油を大量に使う畜産農家や野菜・園芸農家などへの影響は深刻だ

地域農業の振興と食料自給率を向上させるため、免税制度の恒久化を求める。《賛成・全員》

提出先 内閣総理大臣、財務大臣、経済産業大臣、農林水産大臣

1次産業の再生

提出者 片岡清則議員
貿易自由化と過疎、少子高齢化で、1次産業の絶滅が危惧されている。国内の農業や森林を守り、国土と食糧を盤石なものにするため、1次産業の再生・振興に取り組むよう要望する。《賛成・全員》

提出先 内閣総理大臣、農林水産大臣

保育制度の拡充を

提出者 岡林学議員

提出先 衆参両院議長、内閣総理大臣、財務大臣、厚生労働大臣、文部科学大臣、少子化担当大臣



子どもたちが健やかに成長できる制度を

オスプレイの訓練中止を求める

提出者 山橋正男議員
垂直離着陸輸送機オスプレイが3月6日から8日に低空飛行訓練を本県上空で行い、県民の不安は一層高くなっている。救急患者の命を守るため、低空飛行訓練を中止を求める。

《賛成8・反対1》

提出先 内閣総理大臣、外務大臣、防衛大臣

寺村 日米安保条約によって基地を提供し、米軍の訓練を認めている。「有事の際には守ってもいい、訓練は拒否する」では筋が通らない。受け入れるべきだ。

山橋 開発段階から事故が多発し、死傷者が出ている。低空飛行訓練が嶺北地方で実施され、地域住民には不安と迷惑をかけており、提案する。

●意見書の提出(地方自治法第99条)
地方議会は地方公共団体の公益に関する事件につき、意見書を国会または行政庁に提出することができる

住民生活の安全・安心対策

産業建設常任委員会(委員長・武智龍)6人は、2月21日に町内の防災や環境対策などを視察調査しました。



落石対策で安全な道路に

各地で道路の修繕

町道の修繕系交付金工事は数カ所実施され、側溝の蓋掛けや落石防護対策により、通行の安全性が向上している。今後も整備の継続を期待する。

本の森図書館の耐震化

耐震化と1階の増築、2階、3階は内壁、天井、床の改修を行う。図書室と読書コーナーを1階に配置して入館者の増加と利便性の向上が図られる。



完成に向け舗装工事が進むヘリポート

桐見川ヘリポート

ヘリポートは傷病者の緊急搬送、早期治療等に大きく貢献しており、町内5カ所目となる。県道から桐見川ヘリポートまでの道路整備と引き続き必要な地区への整備を望む。



日も早く改善を

放送が聞こえない

デジタル防災無線放送が、「聞き取れない」「前より聞こえない」といった苦情がある。全域で詳細な調査と機器の調整、戸別受信機等の対応を急ぐ。

上流地区水道施設

上流地区の水道は、谷川から取水していたが、地下水を汲み上げる施設となり、安定した水量の確保と維持管理が容易になった。



設置された給水ポンプ

市山の空き家 移住者受け入れを

市山住宅改修工事は、住みやすく整備し、移住者の受け入れが期待されるが、予定していた「地域おこし協力隊」が入居しないとのことで、早急な対応を求める。



風呂も広く洗面所もきれい

今成が越知上水道に統合

今成簡易水道と越知上水道を統合したが、沈下橋に取り付けた給水管は増水・越流時には十分な注意と点検が必要だ。



沈下橋上の水道管

小学校

学力の2極化を防ぐ

基礎学力はあるが活用力が弱く、できる児童とできない児童の2極化が見られていたが、できない児童の学力を伸ばすことで、学力テストでは県平均に近づいている。

連携して育成

平成25年度は、文部科学省と高知県指定の事業を取り入れ、幼稚園や中学校、地域、保護者が連携して児童の育成を図る。

雨漏りやトイレ改修

校舎の雨漏りやトイレの悪臭は改修を急ぐ。学校の情報を、保護者だけでなく町民全体に知らせるよう検討すべきである。

中学校

社会に出て使える学力

生徒は素直な反面、悪質な誘惑への抵抗力が弱い。そのため、道徳教育を基盤として、社会に出て使える学力や、どんな場面でも、しっかりと判断して対応できる教育に力を入れている。

また、地域と学校が触れ合う機会を多くして、互いの理解を深めることも視野に入れている。

人生の目標を持たす

教師が「教える」「させる」といった上からの立ち位置だと、学習意欲も定着しないため、子ども自らがその気になり、人生の目標が持てる指導を行っている。

完成が待ち遠しい

体育館とプール 工事中の体育館とプールが完成すれば充実した活動が期待される。

幼稚園

生活習慣の指導

登園時には手洗いや消毒、うがいをしている。トイレトペーパーが使えない子どもやオムツが取れない子どもには、基本的な生活習慣を身に付けさせている。

保育園

送迎の路上駐車減る

園児の送迎に保育園北側と小学校東門前の駐車場を利用することで、路上駐車が減り、通行の安全性が向上した。

いきいき生活できる環境

遊具の一部撤去・移設を計画している。遊びやすく危険もなく、いきいきと生活できる環境を期待する。

教育環境の連携を図る

総務教育常任委員会(委員長・山橋正男)6人は、2月19日に町内の小・中学校、保育園、幼稚園を視察調査しました。



幼稚園や中学校と連携して学力向上を目指す



自分で考え行動し、友達と仲良く遊べる子ども像を目指している

町との対話が

住民の願い

町民63人と意見交換

2月22日に、保健福祉センターで議会基本条例制定後、初めての地区別懇談会を開催しました。町民63人が参加し、関心の高い3区町営住宅の計画や町の将来像などについて議論を交わしました。



会場満席の中、予定時間を上回り議論が白熱した

3区町営住宅の計画

賛成か、反対か

質問 町営住宅の建設に賛成か、反対か。

回答 人口流出を止めるために建設するべきで、山間地域の人や低所得者、若者から安いアパートが欲しいという声もある。国から半分補助があり、良いタイミングだ。

回答 50戸の計画が問題だ。必要な人の分だけ建てればよい。

実施設計がまだで、予算も出てない。詳しい説明がなく、はっきりしない部分が多い。

家賃と負担は

質問 家賃や負担はいくらになるのか。

回答 3月末に設計ができるから、その後に金額を示すとのことだ。建設予算は6月補正で出す予定とのことだ。

町民は置き去りだ

質問 最近の新聞や議会だよりで知った。

自分たちは置き去りで話が一方的に進んでいる。町営住宅がどうあるべきかを、町民も入れて詰めていくべきだ。

回答 一般質問で町民の意見を聞くべきだと言ったが「聞く考えはない」と言った。

議案ではないので「やらない」と言われたら、決められない。

ニーズと意識調査を

質問 需要調査もしないで、来るか、来ないかも分からずに計画しているのか。

ニーズ調査と町民の意識調査をやるべきだ。
回答 町はニーズ調査をしていない。

土地購入の条件

質問 土地を買うとき、何かあったように聞か。

回答 売り主の減税措置のため、50戸建設が条件になっている。

その他の意見

▼土地所有者の税金を免除するために50戸建てるとは、もつての外だ。

▼山間地域に住む人が町営住宅に入るはずがないし、低所得者ほど家賃を払ってまで住むとは思えない。

▼安い公営住宅ができれば、経済的余裕のある人が入居して、家を建てなくなり、マイナス効果で、町の大きな損失だ。

▼公営住宅ができれば民間は経営できなくなり、新たな投資はしない。

▼3区の道は狭いので、道が先じゃないのか。
▼野党も与党もなく、町民の代表として、住みやすい町にしてほしい。

防災無線放送

放送が聞こえない

質問 役場からの放送が改善されない。

戸別受信機も設置してくれたが、すぐ壊れた。晴れた日は聞こえるが、雨の日などは聞こえない。精度の高い放送にしてほしい。

回答 電波の性質もあると思うが、現在、調整中であり、支障があれば総務課の防災無線の係に連絡してもらいたい。

その他の意見

▼施設の設置場所を地図上に示してもらいたい。

▼チャイムの後、すぐに本題に入ると、高齢者は窓を開けて聞かない。音楽などを流して、時間を取ってから放送してもらいたい。

▼日高村は全戸光回線を設置して、部屋の中で情報を聞くことができる。

地域公共交通

空気を運んでいる

質問 路線バスは、町の補助金で空気だけ運んでいるが、鉄道との連携が悪い。



鉄道と連携したバス運行が求められる

利用が多い時間帯に走れば経営も良くなると思うので、有効に連携してやってもらいたい。

回答 先進地を見たが、まだ把握できていない部分があり、1年くらい検討して提案していく。

町の将来像

高齢化対策は

質問 高齢化の町をこれからどんなにしたいと考えているのか。

市原 介護保険をなるだけ使わないよう、元気な高齢者をサポートしたい。

高橋 山間地域の水の問題に取り組み。

岡林(学) 独居が増えてるので、見回りと互いの助け合い。

齋藤 親身に相談に乗ってくれて、的確なアドバイスができる人を育てることが大事。

武智 あらゆる政策を駆使して若い人を増やすように取り組む。

片岡(清) 高齢者が少しでも安心して住める町にしていく。

山橋 近所同士、町内全域が声を掛け合えば素晴らしい町ができる。

岡林(幸) 山間地住民の足の確保を一番に考えている。

町と対話の実現を

質問 執行部の考えが分からない。

町長や課長が町民との対話集会をやってもらいたい。

回答 住民の意見を代弁するのが議員であり、その実現を迫っていく。

その他の意見

▼独居高齢者の安否対策をしてもらいたい。

▼商店街はひっそりとして衰えた状態だ。お茶でも飲みながら交流し、時には演芸大会などができる施設を作ってもらいたい。

議会だより『優良賞』 全国町村議会広報コンクール

全国入賞議会

最優秀賞	山形県庄内町議会	奨励賞	岩手県紫波町議会
特別優秀賞	鳥取県大山町議会	//	宮城県丸森町議会
優秀賞	岩手県岩泉町議会	//	宮城県大郷町議会
//	宮城県利府町議会	//	宮城県美里町議会
優良賞	岩手県金ヶ崎町議会	//	山梨県昭和町議会
//	宮城県大和町議会	//	石川県津幡町議会
//	山形県川西町議会	//	愛知県大口町議会
//	福島県広野町議会	//	愛知県幸田町議会
//	群馬県吉岡町議会	//	鳥取県北栄町議会
//	高知県越知町議会	//	沖縄県北谷町議会

表紙フォトグランプリ賞 静岡県長泉町議会

議会だより第100号（平成24年5月1日発行）が、第27回町村議会広報全国コンクールで、応募総数245誌の中から「優良賞」を受賞し、平成17年度「奨励賞」から8年連続入賞です。

これを一層の励みとして、町民の皆さんに愛読いただける「議会だより」を目指し、努力してまいります。

相次ぐ議会広報視察

九州や中・四国の市町村議会から視察依頼が増え、本年1月には、大月町議会から8人、香川県から8町議会47人が来町され、大型スクリーンでの編集内容の説明や来町議会広報紙の所見を行うなど、互いの編集能力の向上に努めました。

また、3月24日の高知新聞にも全国コンクール入賞が大きく取り上げられました。



紙面レイアウトに頭をひねる



香川県から47人が視察来町（1/29）

追跡 No.32

あれはどうなっちゅうが？

旧レストラン都周辺の土地は、町が平成13～14年度に購入していたが、本年度にその一部を「越知道路」用地として国土交通省に7980万円（土地代金+建物補償費）で売却する。



これからの越知道路は
岡林学議員（平成22年9月）
片岡清則議員（平成22年12月、平成23年3月）
越知道路は1.5キロ区間が完成したが、残り3キロ区間はどうか。
進んでいる
町長 横倉から小浜は橋、小浜地区内はトンネル、小浜から楠神（旧レストラン都付近）は橋で、楠神から野老山方面は現在の国道を使う計画である。細かい調整しており、進んでいると理解してもらいたい。

処理状況

本年度から工事が始まる
「越知道路」4キロ区間のうち、横倉から野老山（市ヶ谷）までの3キロ区間が着手されていたが、本年度から旧レストラン都付近に架かる立花大橋（仮称）の下部工事を始める。
また、横倉地区でも準備が進められている。

平成25年度予算

会計名	予算額	前年度比	
一般会計	9億3577万円	△4億2639万円	
特別会計	特別養護老人ホーム	12億6714万円	△355万円
	養護老人ホーム	1億1876万円	526万円
	障害者支援施設	1億6610万円	△249万円
	ふるさと市町村圏	3023万円	△2億9421万円
合計	25億1800万円	△7億2138万円	

広域議会
（2月26日）
諸般報告（要旨）
衛生センター25～27年度に改修
老朽化が進む衛生センターは、25～27年度に改修工事を行う。救急出動は1593件で、前年より100件増え、65歳以上の搬送が約75%を占める。防災ヘリやドクターヘリの要請は36回で、救命率の向上に効果が表れている。